

グローバル保健医療システム・マネジメント・政策センターは、州立ライト大学ブーンシヨフト医学大学院・地域保健学研究科の附属機関です。保健医療の質、効率、利便性の向上を目指し、地域社会に貢献するとともに、保健医療の国家モデル構築に寄与しています。

MPH(公衆衛生学修士学)では、医師、病院・医療保険会社・医療保健機関の従事者等、すべての保健医療関係者に、経営管理および医療経済学の教育を促進しています。本センターは、Population Health を保健医療分野における成功の鍵の一つと捉え、患者個人のケアにあたるとともに、地域全体のニーズを理解し、それを支援することが重要であると考えています。なお、本センターのMPH課程は、CEPH(米国公衆衛生学評議会)の認可を受けています。

本センターでは、研究助成金や研究プロジェクト契約を通し、保健医療制度・プログラムの分析と構築を行っています。予防医療と地域に根ざした医療保健の提供を重んじ、疾病と障害の予防、医療の質の向上に努めています。

また、MPH課程に併せ、医療提供機関へのコンサルテーションおよび事業提供も行っています。国家レベルの経験と地域専門性の融合により、質の高いサービスを提供しています。

本センターは、医療公共政策の対話を促す機関として、重要な役割を果たしています。米国における国民皆保険制度を促進するとともに、新しい知見の発見や、従来の議論の見直しの際としてのフォーラムも開催しています。

保健医療事業は、常に変化し、新しいニーズに対応し、進展に対応すべきであると考えています。保健医療を担う一員として、最先端に位置し、変化を予測し、対処法を備えることが、本センターの方針です。